

生活衛生課・みどり公園課

【既定】	生活衛生管理	予算額	33,507 千円
【投資】	ドッグランの整備 ※都市整備部	予算額	11,850 千円

事業の目的・概要

動物に対し様々な価値観を持つ区民同士が理解し合うとともに、動物が命あるものとして尊重され、人のよきパートナーとして幸福で健康な生涯を送ることができるよう取り組みます。東京都獣医師会杉並支部及び杉並区動物適正飼養普及員（杉並どうぶつ相談員）※¹等と協力し、動物愛護と都市における動物飼養ルールの普及啓発や災害時における動物救護対策等を充実させ、人も動物も共に健やかに暮らしていける地域社会の実現に向けた取組を推進します。

※¹ 杉並区動物適正飼養普及員（杉並どうぶつ相談員）…人と動物の共生の実現に向けて、動物の愛護及び適正な飼養についての普及啓発を推進するため委嘱されている区民

主な取組内容

➤ 動物適正飼養ルールの普及啓発

動物の適正飼養ルールの情報発信、犬のしつけ方教室などの講習会を実施するほか、地域に根ざした普及啓発活動を担う杉並どうぶつ相談員の育成を進めます。

➤ 飼い主のいない猫対策

東京都獣医師会杉並支部の協力を得て実施する「飼い主のいない猫を増やさない活動支援事業※²」や杉並どうぶつ相談員の活動により、飼い主のいない猫を適正に管理する個人・ボランティアグループを育成・支援します。また、関係者相互の情報共有を図り、地域の協力体制を強化します。これらにより、不妊・去勢手術と餌場・ふん等の適正管理を促進し、飼い主のいない猫の数の減少と区民の快適な生活環境の確保に取り組みます。

※² 飼い主のいない猫を増やさない活動支援事業…飼い主のいない猫を増やさないため、地域のボランティアグループが行う猫への不妊去勢手術などの活動に対し助成する事業

➤ 狂犬病予防の推進

区民と動物の健康と安全を確保するため、狂犬病の国内発生の危険性について周知を図るなど、人と動物に共通する感染症の知識の普及を進めます。併せて、狂犬病の発生予防とまん延防止のため、狂犬病予防注射の接種率向上に取り組みます。

➤ 災害時におけるペットの救護対策

災害発生時に、飼い主による同行避難や適正な飼養管理が行われるよう、飼い主に対し、平常時から災害に対する備えの重要性を普及啓発します。また、各震災救援所運営連絡会や東京都獣医師会杉並支部、杉並どうぶつ相談員と協力し、ペットの同行避難と適正飼養に必要な体制や資材を整備していきます。

➤ ドッグランの整備・運営

公園等における犬をめぐる事故やトラブルを防止するとともに、飼い主のマナー等の向上を図り、犬を通じた住民同士の良好なコミュニティやレクリエーション空間が形成されることを目的に、都立和田堀公園内に区営のドッグランを整備し、運営します。